

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4(3)	運営推進会議の内容をさらに充実させるため、会議資料や議事録の送付など、参加者や家族に向けた発信を通し、意見をj得ることで、さらにサービスの向上に向けた取り組みに期待したい。	運営推進会議が行えない時には、参加できない方々に資料などを送付して、施設内での行事・予定、施設の取り組み等を伝える。また、事例や意見・質問をj得ることで施設サービスの向上に取り組む。	今後も継続して2ヵ月に1度は運営推進会議を行うようにしていく。運営推進会議が行えない時には施設行事・予定など資料を送付して内容を報告し、参加者から意見や質問を聞き取りサービス向上に繋げていきたい。会議を持つことにより継続した地域との関係を途切れないように取り組んでいく。	12ヶ月
2	33(16)	重度化や終末期に対する整備は法人をあげて体制が構築している一方、利用者の急変に備えた、書類や急変時の意思確認などあらかじめ、想定できることへの体制整備が期待される。	但馬愛の園グループの法人で統一した書類を使用して、利用者の急変時の意思確認などを明確にしておく。	但馬愛の園グループの法人で統一した書類を上司と相談して作成する。事前に家族や利用者とは相談して思いや考えを聞きとり、利用者の急変時の意思確認を書類等に明確にしておく。また、職員全員が急変時の対応ができるよう周知徹底していく。	12ヶ月
3	49(22)	日常的な散歩等の外出機会も出来ていない環境下にあるので、ウッドデッキに出て外気に触れる機会や楽しみを作ってほしい。園庭を復活化して、季節の野菜や花を育てる取り組みができれば、ホーム敷地内での散歩の機会となる。実現に向けた職員や家族の支援に期待したい。	施設周辺には恵まれた環境があり、地域との交流のため外出機会を増やしていきたい。感染症対策等により外出ができない時には、敷地内に出て外気に触れ季節を感じながら気分転換を図っていくようにする。	出来るかぎり地域交流のため外出を行っていく。感染症対策等により外出ができない時には、定期的にウッドデッキに出て自然の景観を楽しんだり、施設行事を行っていくようにする。外気に触れ五感で季節を感じ、敷地内での散歩の機会となるよう野菜や花などを育てていくように努める。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。